

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



横浜旭ロータリークラブ

2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック
RI.D2590ガバナー / 長戸はるみ
横浜旭RC会長 / 北澤 正浩

カールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
http://yokohamaasahirc.org
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日 / 12時30分～1時30分

2024年10月2日 第2557回例会 VOL.56 No.10

- 司会 SAA 関口 大樹
- 開会点鐘 会長 北澤 正浩
- 出席報告

会員数	20名	本日の出席数	12名
本日の出席率	68.42%	修正出席率	78.95%

- 本日の欠席者
日向、中谷、二宮、佐藤 (勉)、宋
- オンライン出席 福村
- 他クラブ出席者 北澤、新川 (地区)
- ビジター

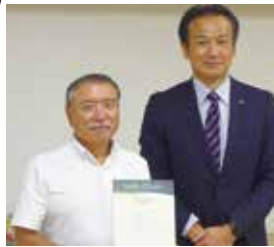
石山 健人様 (地区米山選考委員、横浜瀬谷 RC)
沼 りえ様 (地区米山推進委員長、川崎 RC)
峯岸 雅宏様 (川崎北 RC)

■カウンセラー感謝状

安藤会員

■誕生日祝い

新川会員 10.15
草柳会員 8.8



■会長報告 北澤 正浩

皆さん、こんにちは。昨日は財団セミナーにおいて、二宮さんの代理として出席させていただきました。セミナーの内容は、地区補助金やグローバル補助金、奨学金制度などについての説明が中心でしたが、特に印象深かったのは、当クラブの新川会員がポリオプラス委員長としてお話くださった、ポリオの現状についての内容でした。

さて、今回のセミナーとも関連しますが、10月は「米山月間」です。本日は、この米山月間について改めてお話しさせていただきます。

この米山月間は、国際ロータリーの特別月間として、日本独自のテーマが設けられたものです。なぜ10月が「米山月間」とされているのか、ご存じでしょうか？その背景には、米山奨学事業の長い歴史があります。米山奨学事業は、日本のロータリー活動において非常に重要な役割を果たしてきました。

1975年8月に米山梅吉翁が逝去された際、その功績を称えるために4月28日までの1週間を「米山週間」とすることが決定されました。しかし、1980年代に入り、4月にはロータリー雑誌週間が重なり、事業報告書の数字が古くなるという問題から、10月に移されました。

さらに、米山基金が日本全地区クラブの共同事業として承認された地区大会が10月に開催されていたことも、この月間が定着した理由の一つです。1983年以降、10月が「米山月間」として定着し、今日に至っています。

この奨学事業を通じて、私たちは国際的な人材の育成に貢献しています。この10月という特別な月に、私たちの活動をさらに推進し、多くの奨学生が未来へ羽ばたくための支援を行っていきましょう。

最後に、奨学事業への寄付に関しては、先日の情報集会でも議論がありましたが、この事業がいかに日本と世界の架け橋として機能しているか、改めて認識することが重要です。戦後、国際親善と世界平和に貢献したいという思いで築かれたこの奨学事業を、私たちも引き続き支えていきたいと思えます。

■幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

・横浜瀬谷 RC

10月18日(金) 瀬谷フェスティバル振替休会

10月20日(日) 瀬谷フェスティバル

会場：旧瀬谷西高校

・横浜あざみ RC

10月30日(水)移動例会 親睦バス旅行

■災害対策委員会報告

災害対策委員会委員長 増田嘉一郎

「ロータリーの友」編集部から五十嵐委員に、来年の4月号で、「災害時支援の取り組み方を取り上げたい」、「災害が発生した時の緊急時にどう動くかを取り上げたい」との要望がありました。未だ企画段階で、企画が成立するかも分からない中でのお願いということです。

ロータリーの友の担当自身が、何を取り上げるかの焦点が定まっておらず、漠然としており、そのためその対象もいろいろの場面を想定しての幅広いものとなっており、私の印象は、取り敢えず網を張って、釣れた魚を見てから料理を考えようか、という感じです。

「ロータリーの友」の特集記事は、このよう

な手順で進行していくのかと面白く読ませてもらいました。

12月に講演をお願いしている水谷先生からも協力する旨の連絡がきており、委員会、としても積極的反対意見もないことから、編集部宛に協力する旨回答しました。

具体的に何を取り上げるかについて、委員からでた意見としては、次のものがありました。

(1) 全国の RC を対象に、被災時のマッチングサイトの立ち上げを提案したらどうか。

(2) これまでの災害時の支援対策を振り返って、①できたことと、できなかったこと、②災害時のニーズについて、支援する側と受ける側で理解が一致していたか、ギャップがあったか等、過去の被災時の具体的状況をリアルに取り上げ、振り返る機会としたらどうか。

■親睦委員会

田川副委員長

ここ数年ぶりでの情報集会ですが、各グループにて集会を実施され有意義な意見交換が出来て居ると思います。つきましては、次回の例会時にグループリーダーの方は討議された内容を、委員会報告として発表をお願い致します。また、発表順番は3リーダーで相談して決めて頂き、各グループ3分程度に内容を取りまとめてください。

■3カ年 project

五十嵐 正

3カ年プロジェクトからのお知らせとお願いです。

12月14日に行われる「イタリアの防災に学ぶ」市民講座の案内チラシが出来ましたので、ご案内申し上げます。

この講座は事前申し込み制となっております。チラシのQRコードから入り、必要事項を入力し送信してください。また、クラブ宛てFAXでも受け付けます。

定員は220名。今月10月と11月の二カ月で募集を行います。

会員の皆様には一人でも多くの参加者募集のご尽力をお願いします。

また、14日と20日のフォルテ祭、区民まつ

りの際広報のご協力をお願いします。

■ニコニコ BOX

石山 健人様（地区米山選考委員会）／本日は表敬訪問を兼ねて、米山の卓話に来させていただきました。宜しくをお願いします。

沼 りえ様（地区米山増進委員長）／いつも米山奨学事業にご理解をいただきありがとうございます。本日は米山月間最初の卓話、楽しみにしています。

峯岸 雅宏様（川崎北 RC）／本日はお世話になります。

北澤 正浩／地区米山増進委員長、沼りえ様、地区米山選考委員、石山健人様、川崎北 RC 峯岸雅宏様ようこそいらっしゃいました。

岡田 隆／石山様、沼様、峯岸様、本日はお忙しい中お越し頂きありがとうございます。石山様本日の卓話よろしくお願ひ致します。

安藤 公一／石山様、沼様、峯岸様ようこそ。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

関澤 信吾／石山様、本日の卓話楽しみにしています。

五十嵐 正／①妻の誕生日祝いに素敵なお花ありがとうございました。②石山様本日の卓話よろしくお願ひします。

田川 富男／石山米山選考委員、沼りえ米山増進委員、本日は卓話ありがとうございます。

■卓話／米山奨学制度について

米山選考委員会委員 石山 健人様（横浜瀬谷 RC）

石山と申します。私は米山奨学事業選考委員会の委員であり、横浜瀬谷ロータリークラブの今年度会長を務めさせていただいております。本日、表敬訪問の前にこのような形で訪問させていただき、皆様の日頃からの米山奨学事業への関心とご議論に感謝申し上げます。寄付金の集め方についてもご検討いただいていると伺っており、本日はパワーポイントを用意しております。いつも通りの説明になり



ますが、ご質問などありましたら、できる限りお答えしたいと思います。

進行の前に、本日の上司から一言いただければと思います。

「今年度の米山増進委員長の沼です。本日は米山月間ということで、石山委員の話を楽しみにしております。先日、米山奨学生たちと共に鶴見の總持寺で米山梅吉のお墓参りをしました。奨学生たちは優秀でチャレンジ精神が旺盛です。ロータリークラブとの交流にも感謝しており、私も微力ながら支援を続けたいと思っています。皆様のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。」

さて、皆様にはお馴染みの「豆辞典」もお手元にあるかと思いますが、今日の説明もそれに基づいておりますので、後ほどご参照ください。米山記念奨学事業は、日本ロータリークラブ独自の外国人留学生支援事業であり、全 34 地区が参加する合同事業として運営されています。奨学生には世話クラブとカウンセラーがつき、交流を通じてサポートが行われています。

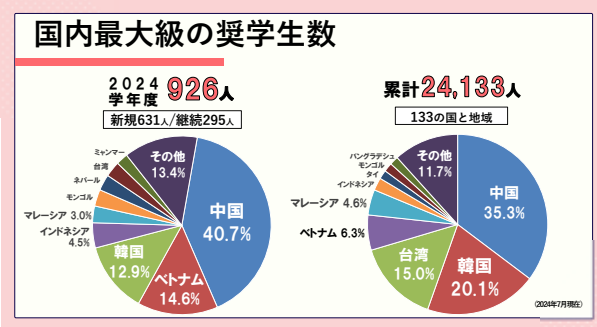
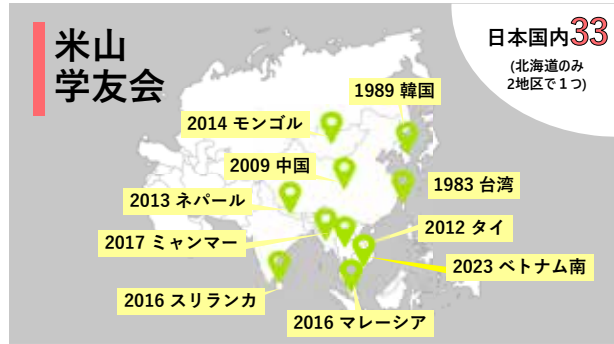
米山梅吉はポール・ハリスと同年に生まれ、1920 年に東京ロータリークラブを設立しました。その後、三井信託株式会社を設立するなど、生涯を奉仕に捧げました。1949 年に日本ロータリーが国際ロータリーに復帰した際、米山基金が設立され、1957 年には全国に拡大しました。財団法人の設立は 1967 年で、2017 年には財団設立 50 周年、2022 年には米山基金創設 70 周年を迎えました。

RI（国際ロータリー）と米山についてですが、米山は RI の公式プログラムではありませんが、RI 理事会から合同奉仕活動として認められており、ロータリーの名称やマークが使用されています。2014 年には、米山奨学生もロータリー学友として認められ、国際大会で分科会が開催されるようになりました。

今年度は全国で 926 名の奨学生を受け入

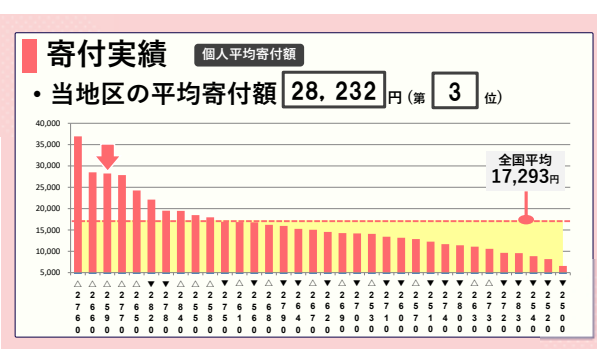


れており、累計では2万4133名が支援を受けています。今年度はベトナムの奨学生が増加しており、指定校に在籍する中国人留學生が多いですが、多国籍の學生を受け入れるため、選考プロセスでは国籍のバランスを考慮しています。選考基準には将来の目標、留学の目的、交流への意欲などが重視されています。



Q 中国人奨学生の割合は増えていますか？

- ✓この10年間は大きな増減なし
- ✓日本の高等教育機関で学ぶ外国人留學生の**46.6%**が中国人
- ✓指定校に在籍する留學生の**55.2%**が中国人
- ✓各地区選考委員会は偏りをなくすよう努力 (中国国内の出身地域が多様となるよう配慮など)



昨年度、当地区の平均寄付額は28,232円で全国3位となり、特別寄付者の割合も全国平均を上回っています。学友会活動も活発で、学友総会や国際料理大会、奨学生との交流イベントが行われています。学友の中にはロータリー会員やガバナーとなった方もおり、米山奨学事業を通じた奉仕活動が広がっています。



今後も、米山奨学生との交流を深め、ロータリー精神を広めるため、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

(卓話要旨記載、文責五十嵐)

■次週卓話

10 / 16 夜間移動例会 職業卓話 関澤会員